

市民とスポーツ交流深める

東ティモールのバド、卓球、かけっこ 伊那市訪問団



バドミントン講座で受講者と交流する東ティモールの訪問団メンバー

伊那市を訪れている東ティ

モール共和国の訪問団は19

日、市総合型地域スポーツク

ラブが主催するスポーツ講座

を体験した。受講者らと一緒

にバドミントン、卓球、かけ

っこあそび教室の各講座に参

加し、スポーツを通じて受講

者らと交流を深めた。

同国とのスポーツ交流は、

市ふるさと大使を務める日本

東ティモール協会会長の北原

巖勇さん（76）＝同市高遠町

出身、東京都在住＝との縁か

ら、2021年開催の東京五

輪の事前合宿で選手団を受け

入れたのがきっかけ。当時は

新型コロナウイルスの影響

で、選手と市民の直接交流は

できなかった。

今回は五輪後のホストタウ

ン交流事業に対する日本スポ

ーツ振興センターの補助金を

活用し、改めて同国のスポー

ツ選手らを招待。選手6人と

同国オリンピック委員会の職

員1人が18日から4日間、市

内に滞在してさまざまな交流

活動に臨んでいる。

この日はバドミントンと卓

球、年長児から小学2年生を

対象としたかけっこ遊びの各

講座を訪問。このうちバドミ

ントン講座では、受講者8人

と一緒に競技を体験し、スポ

ーツ選手ならではの軽快なフ

ットワークでラリーを繰り返

っていた。

東京五輪や7月の世界水泳

選手権2023福岡大会に出

場した同国代表の水泳選手、

イメルダ・ペロさん（24）は

「今回は外に出て日本の人と

直接交流できるのがうれし

い」と笑顔。講座に参加し

ティモールでもさまざまな年
齢の人がスポーツに親しんで
ほしい」と話していた。同行
分野の交流が発展していけ
ばと期待した。（堀木俊典）